

事業報告書

1 法人の概要

1 設置する学校・学科等

羽陽学園短期大学（幼児教育科、専攻科福祉専攻）

羽陽学園短期大学附属鈴川幼稚園

認定こども園羽陽学園短期大学附属鈴川第二幼稚園

羽陽学園短期大学附属たかだま幼稚園

羽陽学園短期大学附属大宝幼稚園

山形調理師専門学校（調理師科、調理高度技術科）

2 当該学校・学科等の入学定員、学生数の状況（平成23年5月1日現在）

羽陽学園短期大学 (人)

学 科 名	入学定員	収容定員	現 員
幼児教育科	100	200	255
専攻科福祉専攻	35	35	37
合 計	135	235	292

附属幼稚園

園 名	定 員	現 員
鈴川幼稚園	220	184
鈴川第二幼稚園	150	100
たかだま幼稚園	150	95
大宝幼稚園	150	104
合 計	670	483

山形調理師専門学校

学 科 名	入学定員	収容定員	現 員
調理師科	40	40	40
調理高度技術科	40	80	76
合 計	80	120	116

3 役員・教職員の概要等（平成23年5月1日現在）

役員等 (人)

区 分	定 数	現 員
理 事	7	7
監 事	2	2
評議員	20	20

教職員

(人)

区 分	教 員		職 員
	常 勤	非常勤	常 勤
学園本部	0	0	3
羽陽学園短期大学	16	39	10
鈴川幼稚園	13	1	3
鈴川第二幼稚園	13	0	3
たかだま幼稚園	8	0	4
大宝幼稚園	7	0	2
山形調理師専門学校	9	14	2
合 計	66	54	27

2 事業の概要

1 主な事業の目的・計画及び進捗状況

[羽陽学園短期大学]

- ・ 東日本大震災被災学生に対する支援
平成23年3月11日に発生した東日本大震災において被災した学生に対し、検定料、入学金及び授業料を全額免除しました。
- ・ 東日本大震災避難所でのボランティア活動
期 間：3月22日から4月17日まで
場 所：山形市総合スポーツセンターキッズルーム
内 容：保育活動支援
参加延べ人数：学生80名、教員21名
- ・ 高等学校との進学相談会を、次のとおり開催しました。
短大会場：5月31日 酒田会場：9月8日 仙台会場：9月9日
- ・ 学生募集対策として、県内61校、県外36校を訪問するとともに、オープンキャンパスを4回実施し、大学の広報宣伝に努めました。
オープンキャンパス：5月15日、7月17日、8月21日、10月2日
- ・ 公開講座
「やさしい介護、思いやりの介護を目指してⅡ」をテーマに11月19日及び11月20日の二日間公開講座を開催しました。
- ・ 羽陽学園短期大学において、5月28日、5月29日の二日間、「子育て応援団すこやか2011」（やまがたビッグウイング）に参加し、幼児やその保護者を対象にして遊び場を設定し、子育て応援を行いました。

[附属幼稚園]

- ・ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災の避難児童の受け入れをし、各附属幼稚園とも検定料及び入園料を免除し、月々の保育料の負担軽減措置を実施しました。実人員で63名が入園し、うち途中退園6名、小学校入学により19名が退園しました。
- ・ 各附属幼稚園の定員を平成23年4月1日に変更しました。
- ・ 平成23年度も保護者の要望に応え、各附属幼稚園において、それぞれ次の県補助事業の申請・採択を受け、①預かり保育推進事業 ②教員の資質向上対策事業 ③きめ細かな保育の推進事業のほか、鈴川幼稚園においては、④地域開放推進加算事業を、たかだま幼稚園では、⑤特別支援教育事業を実施いたしました。

[山形調理師専門学校]

- ・ 山形調理師専門学校においては、平成23年10月21日に創立40周年記念式典と祝賀会を山形市長はじめ関係者130名の参加を得て、山形国際ホテルを会場に開催しました。
- ・ 厳しい就職難を乗り越えるべく初めてインターンシップを実施し、就職率の向上に努めました。
- ・ 学生募集の一層の強化をはかり、計画的な高校訪問を実施し、他地区の調理師

養成施設と比較し、最多の入学生を確保できました。

2 進路状況

- ・ 羽陽学園短期大学において、幼児教育科は就職率95.3%、進学者は36名、専攻科福祉専攻は100%の就職率です。
- ・ 山形調理師専門学校において、調理師科97.4%、調理高度技術科77.8%の就職率です。

3 土地、建物等の状況

- ・ 土地の取得
大宝幼稚園の園庭拡張のため隣接地及びふれあい農園用地取得
隣接地：210.59㎡ ふれあい農園用地：290.67㎡
- ・ 建物の取り壊し
鈴川第二幼稚園の旧音楽室平成24年3月30日解体

4 施設・設備の整備状況

羽陽学園短期大学	楽器練習棟屋根及び外壁改修、マルチエアコン修理 本館棟外壁クラック修繕（大震災修繕）
鈴川幼稚園	通園バス1台新規購入
鈴川第二幼稚園	放送設備更新
たかだま幼稚園	通園バス2台更新
山形調理師専門学校	製菓オープン式、自転車置場設置

5 認定こども園・このみ保育園整備について

- ・ 鈴川第二幼稚園に認定こども園を平成23年度に開設することとして、当学園の寄附行為の変更認可申請を行い、7月15日付けで認可されました。
- ・ 鈴川第二幼稚園では、山形市より待機児童の解消、公的保育施設建設費の削減及び幼稚園での安心な施設と人材の活用による子育て支援事業として、幼稚園の空き教室を活用した保育室（山形市幼稚園保育事業）を開設するよう要請があり、0～2歳児に特化した認定こども園鈴川第二幼稚園このみ園を6月に定員15名で開設しました。
- ・ 平成23年11月14日付けにて山形市より「山形市認可保育所整備事業者」の決定を受け、平成23年度及び24年度に新たに「認可保育所」を山形市及び県より補助を受け、整備することとなりました。
- ・ 場所は、鈴川第二幼稚園敷地内で、鉄骨造2階建て、定員120名の規模で、平成25年4月1日「このみ保育園」開所を目指して新築します。
- ・ 平成23年度は、実施設計を終了し、平成24年3月14日に入札を実施し、総額352.8百万円にて契約しました。

3 財務の概要

1 資金収支計算書

収入の部合計、支出の部合計は予算額より20百万円減の1,201百万円となっています。

収入の部では、学生数及び授業料等の全額納入者の減少による前受金10百万円、その他の収入7百万円、資金収入調整勘定（期末未収入金）△4百万円が主な収入減少原因です。

支出の部では、資産運用支出（退職給与引当特定預金繰入支出）15百万円が増加し、施設関係支出（建設仮勘定支出）6百万円は支払時期の変更、その他支出項目は抑制しましたが、結果として次年度繰越支払資金が25百万円減少しました。

2 消費収支計算書

当年度消費収入超過額が予算に対し27百万円増加しました。支出項目の抑制の結果です。

帰属収入合計が前年度より95百万円増加となっています。主に学生生徒等納付金と補助金によります。学生数の増加及び避難児童の受入が要因です。

（単位：千円）

科目	平成22年度	平成23年度	増減
学生生徒等納付金	522,706	572,469	49,763
手数料	8,743	7,479	△1,263
寄付金	7,970	9,796	1,826
補助金	184,901	219,357	34,456
資産運用収入	3,249	3,771	522
事業収入	43,085	49,289	6,203
雑収入	35,045	39,239	4,193
帰属収入合計	805,701	901,404	95,702
基本金組入額合計	△33,449	△56,923	△23,474
消費収入の部合計	772,252	844,480	72,228

東日本大震災の被災者に対し減免による奨学費が増加しましたが、結果として収入が増加し、その他の支出を抑制したため当年度は消費収入超過となりました。

（単位：千円）

科目	平成22年度	平成23年度	増減
人件費	546,626	535,329	△11,297
教育研究経費	212,146	217,816	5,670
管理経費	52,132	44,229	△7,902
借入金等利息	7,380	6,238	△1,142
資産処分差額	6,365	970	△5,394
消費支出の部合計	824,650	804,584	△20,065
当年度消費収入超過額	—	39,895	39,895
当年度消費支出超過額	52,398	—	△52,398
前年度繰越消費支出超過額	1,460,847	1,512,203	51,356
基本金取崩額	1,041	7,712	6,670
翌年度繰越消費支出超過額	1,512,203	1,464,595	△47,608

3 貸借対照表

資産の部は前年度より45百万円の増加となっています。大宝幼稚園の園庭拡張のため土地購入、鈴川幼稚園の通園バス1台新規購入、たかだま幼稚園通園バス2台更新、このみ保育園開所のための建設仮勘定が主な増加原因です。

負債の部は前年度より51百万円の減少となっています。借入返済が主な減少原因です。